

日時・場所	令和2年9月24日(木) 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、田中議会事務局長(欠席)、川端政策調整部長、吉川病院事務部長、市木総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、杉本教育部長、遠藤会計管理者、川尻政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課)

1. 市長指示事項

- ・ 8月議会定例会が閉会した。昨日の最終日において一部事実と反する討論がされていたが、議会は言論の府なので正確な情報をもとに議論をしなければならない。議会運営なので、残念ながら執行部側には主導権がないが、士気にも関わることであり、市民に対しても本当にこれでよいのかということになり、今後の課題であると考えている。
- ・ 現在、地域福祉計画を策定している。先般、策定状況の途中経過の報告を受けた。法律が改正され、高齢者、児童、障がい者等に関することを含み、地域福祉計画は福祉の最上位計画となったが、庁内でどこまで共通理解ができているのか。結果的には総合計画と重なる部分があり、制度の実態を知っておかなければならない。すべての行政分野に関わってくるため、関係部の仕事がすべて地域福祉計画の中に入れ込まれている。いくつか懸念する点があるのだが、まちづくり全体の制度や条例とも関わることで、各部で共通理解をして、そこまで考慮して仕事ができるかどうか、現状で問題はないのかなど、しっかりとチェックし、情報の共有化と方針を明確化すること。なお、地域福祉計画は議会基本条例において議決計画に位置付けていただく予定である。
- ・ コロナ対策事業を順次実施しているが、報道にもあったように、国も自治体も財政が厳しくなっている。コロナ対策や景気対策は大事だが、これで終わりではない。従来からの各種事業を実施する上に、さらにコロナ対策事業を実施しており、コロナ対策であれば何でも財政支出が許される雰囲気があるのでそれに流されないようにすること。本市は当初からその点を押さえながら事業を実施してきているが、自治体間では、競争心理が働いている状況もあるので、足元を見ながら着実に取り組むこと。

2. 議題

なし

3. その他伝達事項

- プレミアム商品券について、4連休で販売は終了し、約1億8千万円程度の売り上げがあった。約2億2,500万円以上の経済効果が生まれると予測している。

4. 次回部長会議の予定

9月28日(月) 8時45分～ 庁議室